

総合型地域スポーツクラブ全国協議会(SC全国ネットワーク)  
男女共同参画に関する意識調査 アンケート調査結果

目的: 都道府県総合型地域スポーツクラブ協議会(以下「都道府県協議会」という。)における男女共同参画に関する意識調査を行い、今後の SC 全国ネットワークにおける男女共同参画の推進を図ることを目的とする。

実施主体: 総合型地域スポーツクラブ全国協議会(SC全国ネットワーク)男女共同参画部会

対象: 47都道府県協議会

内容: 以下の通り

- ・都道府県協議会における実態調査
- ・都道府県協議会における意識調査
- ・女性の役員登用及び活用に関するアンケート

方法: オンラインフォーム(forms)を用いて実施

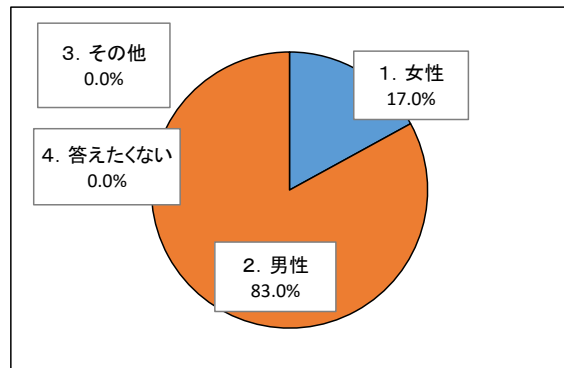
期間: 令和3年9月27日(月)～11月5日(金)

回答者: 都道府県協議会代表者(会長、理事長等)または役員の方

回答数: 47件

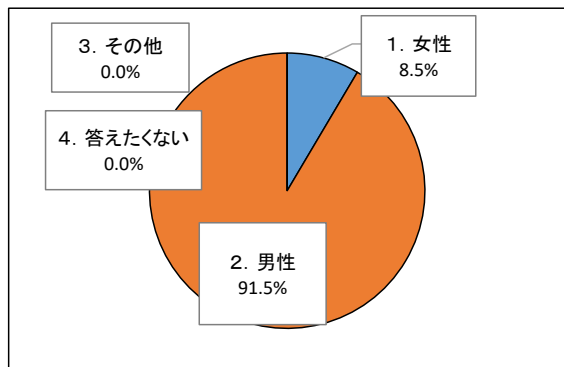
1. 回答者の性別

選択肢	回答数	%
1. 女性	8	17.0%
2. 男性	39	83.0%
3. その他	0	0.0%
4. 答えたくない	0	0.0%
合計	47	100.0%



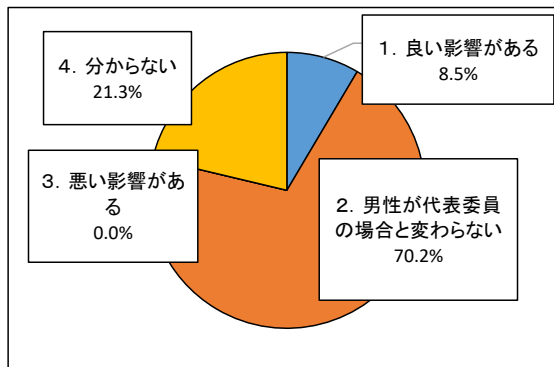
2. 令和3年度SC全国ネットワークにおける都道府県代表委員の性別

選択肢	回答数	%
1. 女性	4	8.5%
2. 男性	43	91.5%
3. その他	0	0.0%
4. 答えたくない	0	0.0%
合計	47	100.0%



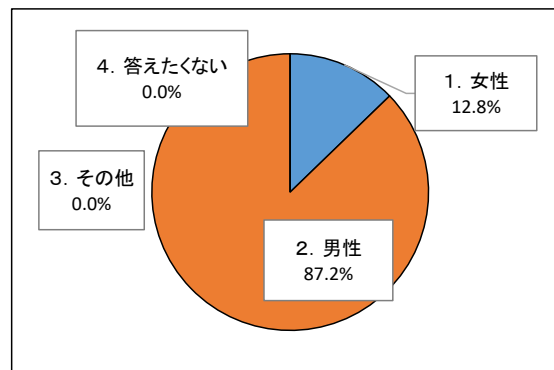
### 3. 女性が代表委員を務めることによる都道府県協議会事業等への影響

選択肢	回答数	%
1. 良い影響がある	4	8.5%
2. 男性が代表委員の場合と変わらない	33	70.2%
3. 悪い影響がある	0	0.0%
4. 分からない	10	21.3%
合計	47	100.0%



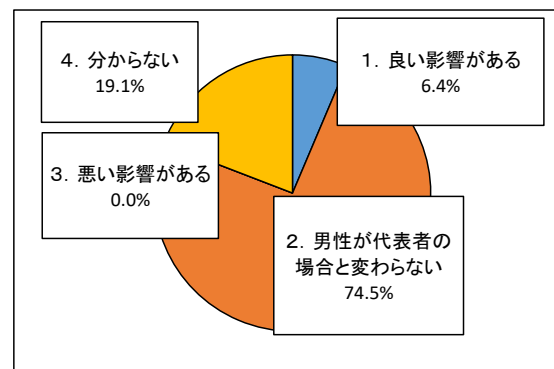
### 4. 令和3年度都道府県協議会代表者(会長、理事長等)の性別

選択肢	回答数	%
1. 女性	6	12.8%
2. 男性	41	87.2%
3. その他	0	0.0%
4. 答えたくない	0	0.0%
合計	47	100.0%



### 5. 女性が代表者(会長、理事長等)を務めることによる都道府県協議会事業等への影響

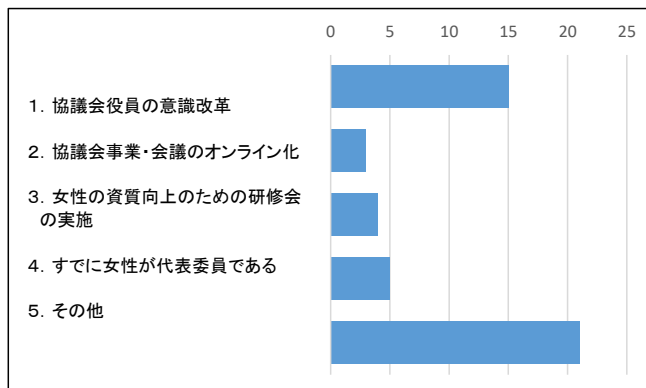
選択肢	回答数	%
1. 良い影響がある	3	6.4%
2. 男性が代表者の場合と変わらない	35	74.5%
3. 悪い影響がある	0	0.0%
4. 分からない	9	19.1%
合計	47	100.0%



### 6. 今後、都道府県協議会において女性が代表委員を務めるために必要な取組

選択肢	回答数
1. 協議会役員の意識改革	15
2. 協議会事業・会議のオンライン化	3
3. 女性の資質向上のための研修会の実施	4
4. すでに女性が代表委員である	5
5. その他	21
合計	48

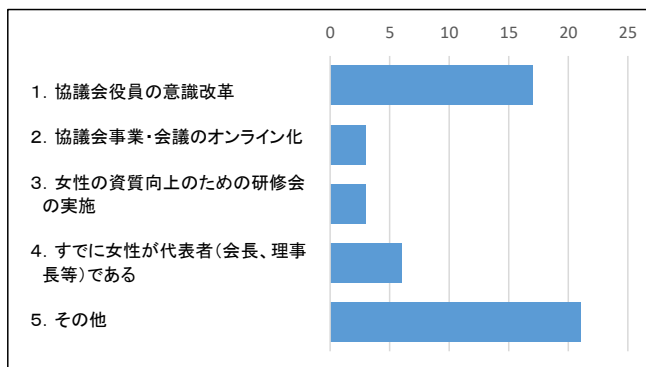
※複数選択可



7. 今後、都道府県協議会において女性が代表者(会長、理事長等)を務めるために必要な取組

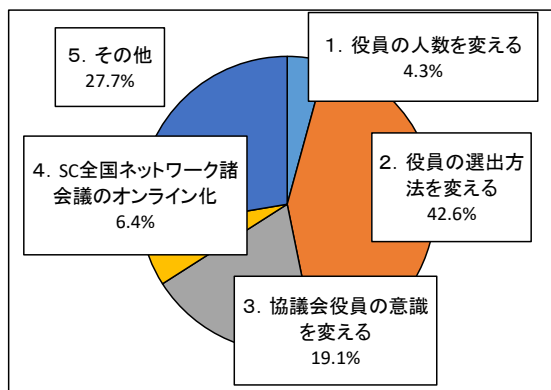
選択肢	回答数
1. 協議会役員の意識改革	17
2. 協議会事業・会議のオンライン化	3
3. 女性の資質向上のための研修会の実施	3
4. すでに女性が代表者(会長、理事長等)である	6
5. その他	21
合計	50

※複数選択可



8. SC全国ネットワークにおいて、今後、男女共同参画を推進していくために行うべき取組

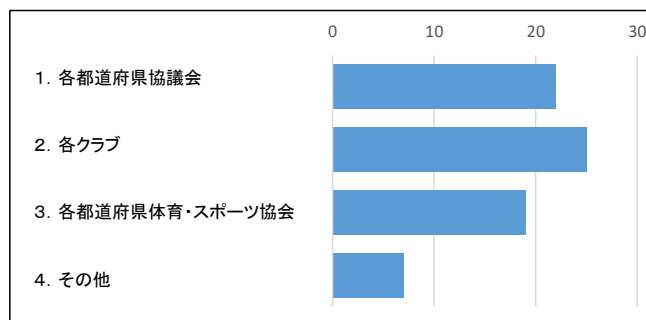
選択肢	回答数	%
1. 役員の人数を変える	2	4.3%
2. 役員の選出方法を変える	20	42.6%
3. 協議会役員の意識を変える	9	19.1%
4. SC全国ネットワーク諸会議のオンライン化	3	6.4%
5. その他	13	27.7%
合計	47	100.0%



9. 上記選択した項目について、働きかける対象

選択肢	回答数
1. 各都道府県協議会	22
2. 各クラブ	25
3. 各都道府県体育・スポーツ協会	19
4. その他	7
合計	66

※複数選択可



10. 都道府県協議会の現在の役員数(都道府県協議会の規約等に定められている役員)

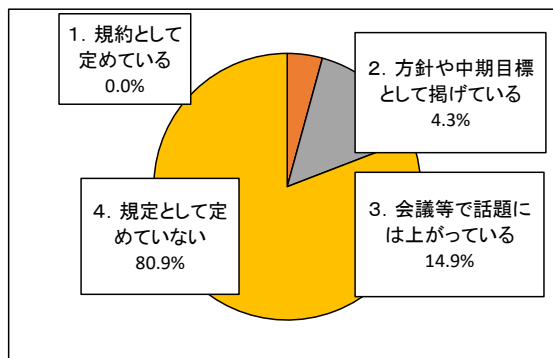
内容	回答数
最大人数	49
最少数	2
平均人数	13.0

11. 上記の内、女性役員数(都道府県協議会の規約等に定められている役員)

選択肢	回答数
最大人数	14
最少数	0
平均人数	2.8

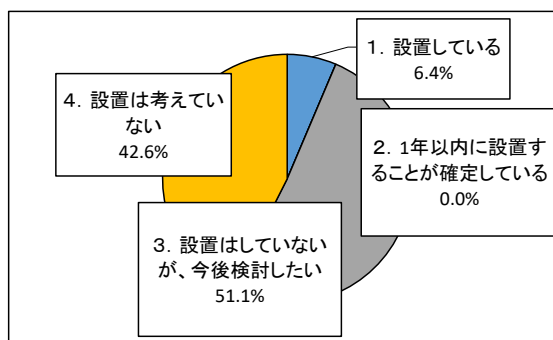
12. 都道府県協議会における、女性役員の登用・活用に関する取組状況(規程や方針、中長期目標)

選択肢	回答数	%
1. 規約として定めている	0	0.0%
2. 方針や中期目標として掲げている	2	4.3%
3. 会議等で話題には上がっている	7	14.9%
4. 規定として定めていない	38	80.9%
合計	47	100.0%



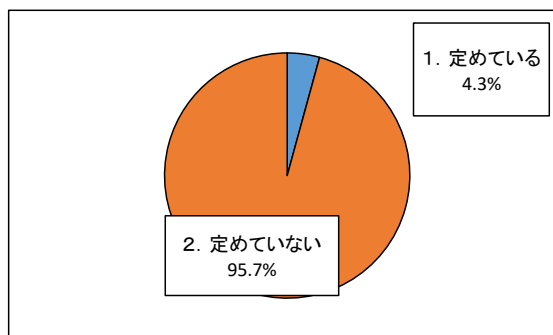
13. 都道府県協議会における女性役員の登用・活用を促進する組織又は委員会や企画部会等会議体の設置状況

選択肢	回答数	%
1. 設置している	3	6.4%
2. 1年以内に設置することが確定している	0	0.0%
3. 設置はしていないが、今後検討したい	24	51.1%
4. 設置は考えていない	20	42.6%
合計	47	100.0%



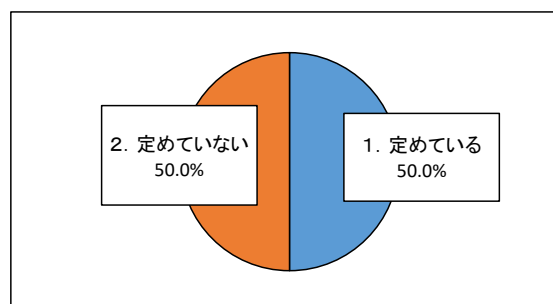
14. 都道府県協議会における女性役員の登用の数値目標の設定状況

選択肢	回答数	%
1. 定めている	2	4.3%
2. 定めていない	45	95.7%
合計	47	100.0%



15. 上記数値目標について、具体的な達成目標期日の設定状況

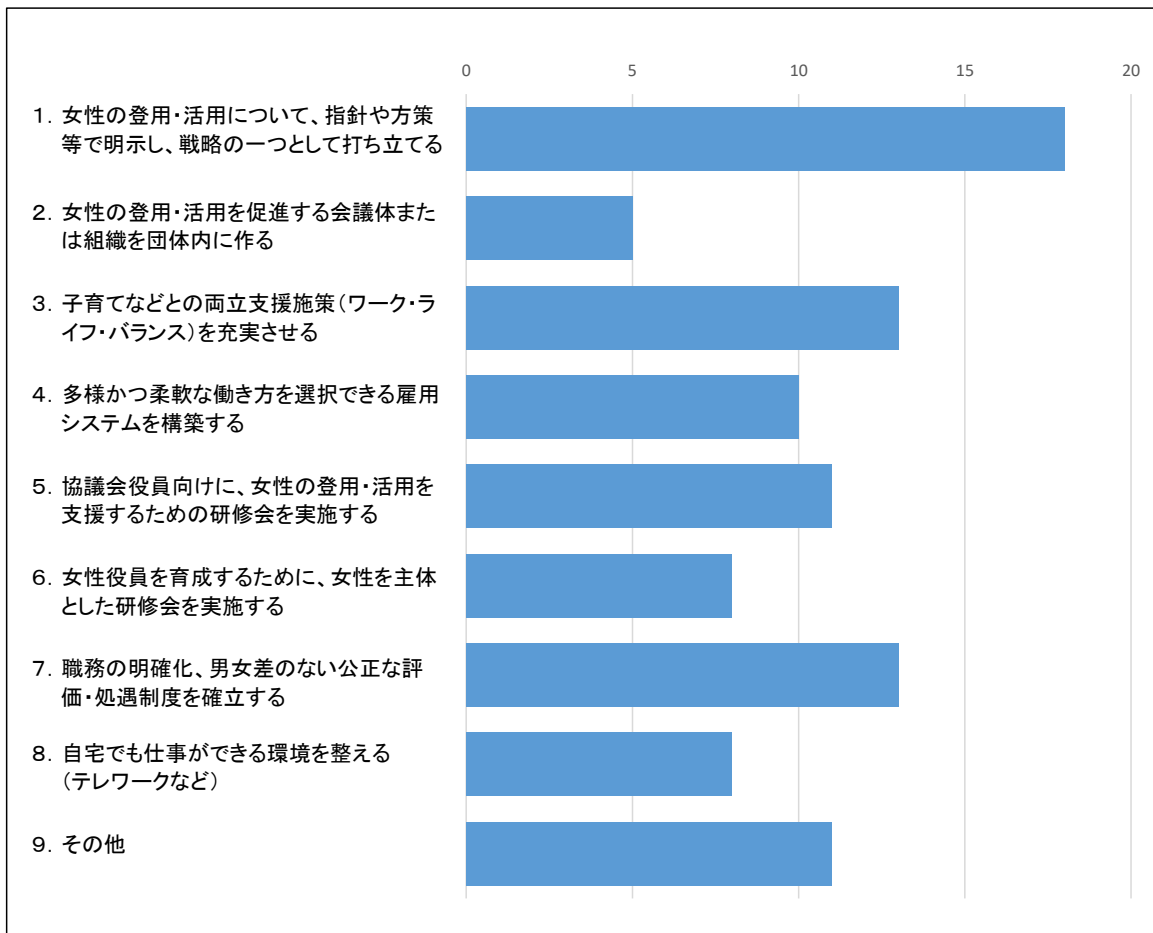
選択肢	回答数	%
1. 定めている	1	50.0%
2. 定めていない	1	50.0%
合計	2	100.0%



16. 都道府県協議会において、女性の登用・活用のために今後取り組むべきこと

選択肢	回答数
1. 女性の登用・活用について、指針や方策等で明示し、戦略の一つとして打ち立てる	18
2. 女性の登用・活用を促進する会議体または組織を団体内に作る	5
3. 子育てなどとの両立支援施策(ワーク・ライフ・バランス)を充実させる	13
4. 多様かつ柔軟な働き方を選択できる雇用システムを構築する	10
5. 協議会役員向けに、女性の登用・活用を支援するための研修会を実施する	11
6. 女性役員を育成するために、女性を主体とした研修会を実施する	8
7. 職務の明確化、男女差のない公正な評価・処遇制度を確立する	13
8. 自宅でも仕事ができる環境を整える(テレワークなど)	8
9. その他	11
合計	97

※複数選択可



17. 都道府県協議会において、女性の登用・活用のために、今後取り組もうと考えていること

選択肢	回答数
1. 女性の登用・活用について、指針や方策等で明示し、戦略の一つとして打ち立てる	18
2. 女性の登用・活用を促進する会議体または組織を団体内に作る	6
3. 子育てなどとの両立支援施策(ワーク・ライフ・バランス)を充実させる	8
4. 多様かつ柔軟な働き方を選択できる雇用システムを構築する	9
5. 協議会役員向けに、女性の登用・活用を支援するための研修会を実施する	7
6. 女性役員を育成するために、女性を主体とした研修会を実施する	5
7. 職務の明確化、男女差のない公正な評価・処遇制度を確立する	12
8. 自宅でも仕事ができる環境を整える(テレワークなど)	8
9. その他	13
合計	86

※複数選択可

